

第3回日本比較薬理学毒性学会春季研究会

オンライン懇親会 議事録

日時: 2021年5月22日(土) 17:40-18:40

参加者: 室井喜景、乙黒兼一、江口遼太、石塚真由美、池中良徳、大谷紘資、堀正敏、三原大輝、村田幸久、中村達朗、小林幸司、田島剛、佐々木一昭、臼井達哉、福山朋季、梶典幸、山崎純、山口卓哉、松山勇人、中川博史、太田利男、高橋賢次、水野理介、向田昌司、齊藤真也、齋藤文代、佐藤晃一、池田正浩、園田紘子、宮本篤、宇野泰広、杉山彰、東泰孝(敬称略、途中退席者も含む、大学院生および学部生は割愛)

議題

- 1) 新任教員の紹介を行った。
- 2) 各大学・各研究室の近況報告を行った。
- 3) 日本比較薬理学毒性学会の留保金の使途について協議し、薬理学実習や毒性学実習の項目をビデオ録画して、実施していない大学にてご活用いただく案、実習書の改定に関する費用の補填案、実習に必要な物品の補填案など様々な意見が述べられた。種々議論した結果、全会員に対して、6月末を締切りとしてアイデアを募ることとした。

- 4) 日本比較薬理毒性学会の名称変更について、会長の池田先生より提案があり、候補として「日本獣医薬理学・毒性学会」があげられた。種々議論した結果、この案を全会員に提案し、6月末を締切りとして審議することとした。
- 5) 第164回日本獣医学会学会学術集会の準備状況については、酪農学園大学の寺岡先生を中心に企画準備がされている。
- 6) 第165回日本獣医学会学会学術集会の開催校については、麻布大学に決定。
- 7) 第4回春季研究会の当番幹事については、東京農工大・臼井先生にお世話いただくこととなった。開催時期は2022年1月下旬から2月初旬の間で、対面による開催を前提とすることとなった。
- 8) 会長任期の確認について、現在の任期の開始は2019年つくばで開催された獣医学会での選出を起点とすることを確認した。
- 9) 日本薬理学会年会との獣医薬理毒性分科会との共催の可能性について協議した。2022年3月に開催される日本薬理学会年会長の宮田先生(鹿児島大・医・薬理)より宮本先生(鹿児島大・獣医・薬理)に企画共催の打診があった。種々協議した結果、会長の池田先生と宮田先生との間で打診内容の確認および企画について協議していただくこととした。

文責 東 泰孝